

1 - 7 いわき地域

* 主要な施策のフォローアップ

| 大分類 | 中分類 | 主要な施策 | その主な取り組み状況、今後の予定 |
|-----|------|--|--|
| 人 | 学校教育 | 磐城高校、磐城女子高校の男女共学化に伴う施設整備を図ります。 | (平成14年度で施設整備完了) |
| | | いわき光洋高校の全日制課程について、校舎の移転整備を進めるとともに、定時制課程については、新しいタイプの定時制単位高校として整備します。 | (平成16年4月、いわき光洋高校全日制課程は新校舎へ移転、定時制課程は新しいタイプの定時制単位制高校である「いわき翠の杜高校」として開校) |
| | | いわき中南部地区に学科転換による総合学科高校を開設します。 | (平成14年4月、内郷高等学校に総合学科を設置、平成16年4月、内郷高等学校はいわき総合高等学校に校名変更) |
| | | 平養護学校及び聾学校平分校の改築整備を図ります。 | 平養護学校については、校舎建築(第2期)を実施し、新校舎の一部を供用開始しました。また、仮設校舎を撤去しました。今後は、グラウンドを整備し、新校舎を完全供用します。聾学校平分校については、校舎改築の基本計画を策定しました。今後は、基本・実施設計を行います。 |
| | 社会教育 | 高等教育機関の集積を生かし、生涯学習機会の拡充や施設の地域開放を促進します。 | 市が県民カレッジ整備事業の一環として各高等教育機関と連携して実施する「いわきヒューマンカレッジ」、各高等教育機関が実施する公開講座等及び各高等学校が実施する自主学校開放講座により、生涯学習機会の拡充や施設の地域開放を促進しました。 |
| | | 体験学習やボランティアの実践活動の場として、ふくしま海洋科学館(アクアマリンふくしま)やいわき海浜自然の家の活用を図ります。 | ふくしま海洋科学館(アクアマリンふくしま)において、施設内案内等にボランティアの協力を得るとともに、施設内外を活用した体験学習を実施しました。また、いわき海浜自然の家において、心に翼・ふれあいキャンプなどの体験型事業やボランティア養成事業を実施するとともに、「オープンデー」を設けて施設を開放し、地域の人々との交流を図りました。今後も各種事業を実施し、体験学習等の活動の場として機能する施設づくりに努めます。 |

| 大分類 | 中分類 | 主要な施策 | その主な取り組み状況、今後の予定 |
|--|----------|---|--|
| 人 | 高等教育 | 国立福島工業高等専門学校の特攻科設置に向けた取り組みを支援します。 | (平成16年4月、独立行政法人国立高等専門学校機構福島工業高等専門学校に移行し、機械・電気システム工学、物質・環境システム工学、ビジネスコミュニケーション学の3専攻科設置) |
| くらし | 保健・医療・福祉 | 地域の保健・医療・福祉の連携強化を図る拠点施設として、いわき市総合保健福祉センター(仮称)の整備を促進します。 | (平成15年4月、いわき市総合保健福祉センター供用開始) |
| | 生活交通 | 川前地区、田人地区等の中山間地域における生活道路等の整備を進めます。 | 県道小野富岡線の調査や用地測量など、川前地区、田人地区等の中山間地域における生活道路等の整備を推進しました。 |
| | | JR常磐線の東京駅乗り入れや常磐線及び磐越東線のダイヤ改正など、利用者の利便性の向上に努めます。 | 常磐線、磐越東線のダイヤ改正、線形改良及び軌道強化による列車の増発やスピードアップなど、利用者の利便性向上に向けた要望活動を実施しました。 |
| | アメニティ | 広域交流の拠点となる小名浜港1,2号ふ頭再開発地区の環境整備を進めます。 | 集客効果のある賑わい空間の創出のため、倉庫群改修工事を進め1号棟本工事が完了するとともに、用地補償が完了しました。今後は、1号棟受変電設備の整備及び2号棟改修工事を推進します。 |
| | | 四倉漁港や勿来漁港等について、緑地等親水機能の整備を進めます。 | (四倉漁港は平成17年度、勿来漁港は平成15年度に整備完了) |
| 快適性の高い居住環境を創出するため、いわきニュータウンの整備を促進します。 | | 住宅市街地基盤整備事業による桃木沢公園の整備を促進しました。 | |
| 良好な住宅及び宅地の供給を図るため、住宅宅地関連公共施設整備促進事業を進めます。 | | (平成16年度、常磐関船土地区画整理事業に合わせて進めていた都市計画道路関船鹿島線の整備が完了) | |

| 大分類 | 中分類 | 主要な施策 | その主な取り組み状況、今後の予定 |
|-----|---------------------------------------|--|---|
| くらし | 文化・スポーツ・レクリエーション | 地域に伝わる歴史・文化資源等を生かした地域づくりの取り組みを支援します。 | 地域づくり総合支援事業（サポート事業）、ひと・まち元気創造事業（市事業）を活用し、地域づくり活動を支援しました。また、「福島県民の日」記念事業において、ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）などの公共施設の無料開放を実施しました。今後も引き続き、啓発活動や情報の提供などを通じて地域づくりの取り組みを支援します。 |
| | | 市立美術館、文化ホールなど身近な文化活動施設の整備充実を促進します。 | 市立美術館において、常設展、企画展のほか、公開講座などの普及活動を実施するとともに、文化センターにおいては、公民館及び教育センター機能の整備拡充を図るための整備方針を決定しました。また、総合型図書館整備事業においては、運営体制等について検討を行うとともに、新たな図書館情報システムの開発等を行いました。 |
| | | いわき地域における多様なスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、いわき公園の整備を図ります。 | いわき公園内の来園者の安全・安心な利用を図るため、施設のUD設計を実施しました。また、ボランティアによる監視モニター及び委託による維持管理を行いました。 |
| | 防災 | 治水機能の向上を図るため、夏井川、藤原川、鮫川等の河川改修等を進めるとともに、土砂災害を未然に防止するため、中山地区等の地すべり対策や急傾斜地崩壊対策事業等を進めます。 | 夏井川、鮫川等において築堤工事等を実施するとともに、湯本川床上浸水対策特別緊急事業においては、まちづくりと一体となる水辺空間の創出を図るため地域住民の方々との懇談会を重ね、調節池の利活用計画や恒久的維持管理のあり方を検討しながら、調節池・河道の整備を推進しました。また、土石流危険渓流における砂防事業や地すべり・急傾斜危険箇所の対策事業等を実施しました。 |
| | 久之浜海岸等において、海岸環境に配慮しながら海岸保全施設の整備を図ります。 | 台風等による高潮・高波から背後地の人命・財産を守るため、関田海岸、豊間漁港において、海岸環境に配慮しながら人口リーフ等の海岸保全施設の整備を推進しました。 | |
| | 防災拠点港である小名浜港において、耐震強化岸壁等の整備を進めます。 | 小名浜港において、5・6号埠頭地区の野積場舗装及びみなと大橋の耐震耐荷対策工事を推進しました。 | |
| | 石油コンビナートの安全を高めるため、自主保安体制の一層の充実を促進します。 | 石油コンビナートの防災対策のための実践的技術の向上と、防災体制の確立を図るため、県市等の防災関係機関と特定事業所が一体となった防災訓練を実施しました。 | |

| 大分類 | 中分類 | 主要な施策 | その主な取り組み状況、今後の予定 |
|-----|-------|---|--|
| 産業 | 農林水産業 | <p>稲作等の経営規模の拡大や冬期間の温暖な気象条件を生かした施設型園芸作物の振興による周年安定生産体制の確立を図るとともに、高速交通体系や都市近郊の立地を生かした販路の拡大を図ります。</p> | <p>国の新たな「品目横断的経営安定対策」に対応するため、いわき市地域担い手育成総合支援協議会と連携して、認定農業者の育成確保と集落営農体制の組織化を最重点課題として取り組みました。また、持続性の高い農業経営の確立と売れる米づくりを目指して、水稻直播栽培や環境にやさしい米づくりの取り組みを促進するとともに、イチゴ低コスト耐候性ハウス、養液栽培施設の導入など、園芸作物の生産技術向上を図りました。</p> |
| | | <p>中山間地域においては、標高差を生かした野菜、花き等による複合経営の確立を図ります。</p> | <p>サヤインゲンの安定生産やキク栽培の省力化を促進するための技術指導や、アスパラガスなどの新規導入作物の安定生産と普及拡大に向けて巡回指導を実施しました。今後も、サヤインゲン・キク栽培等における技術指導、中山間地域における新規作物等の導入による産地化、地域特性を活かした切り花及び高品質鉢物の生産を支援します。</p> |
| | | <p>都市近郊の条件を生かし、直売所の設置等による消費者との交流機会の拡大や、地域の農林水産物を組み合わせた加工品等の開発を支援します。</p> | <p>三和地区健康野菜生産協議会の健康野菜部会を対象として、講習会を開催し作付計画支援及び栽培技術指導を行いました。また、「いわきの郷土食をつくる会」の計画的開催の支援や、学校栄養士、一般消費者等を対象とした有機栽培の現地見学会などを開催しました。今後も各種研修会等を継続して開催し、地産地消の促進や消費者と生産者の交流機会の拡大を図ります。</p> |
| | | <p>広域営農団地農道（いわき地区）の整備を図ります。</p> | <p>高速交通網を活用した円滑な農産物集出荷などにより農業の高生産性を実現するとともに農村環境の改善を図るため、広域営農団地農道（いわき地区）の整備を進めました。</p> |
| | | <p>森林体験学習等の森林とふれあう機会の拡大を図るとともに、住民や森林ボランティア等による森林づくりを促進します。</p> | <p>森林ボランティアの登録誘導や情報提供等を実施し、森林とふれあう機会の拡大を図るとともに、住民等による森林づくりを促進しました。今後も引き続き、「いわきの森に親しむ会」を中心とした森林ボランティア団体の活動を支援します。</p> |
| | | <p>木材の需要拡大と安定供給体制の確立を図るため、住宅関連産業との連携強化を進め、木材産業の体質改善と活性化を促進します。</p> | <p>林業・木材産業構造改革事業により県産木材の安定供給体制を整備するとともに、ふくしま県産木材利用推進いわき地方連絡会議の開催や間伐材搬出作業路の開設などにより、再生産可能な資源である木材の循環利用体制の確立に努めました。</p> |

| 大分類 | 中分類 | 主要な施策 | その主な取り組み状況、今後の予定 |
|-----|-------|---|---|
| 産業 | 農林水産業 | 豊かな海の環境を守り、水産資源の持続的利用を図るため、資源管理型漁業やつくり育てる漁業を進めます。 | 沿岸域における水産資源の持続的利用を図るため、資源管理型漁業や、アワビ、ウニ、ヒラメ、サケなどの種苗の放流による「つくり育てる漁業」の推進等を実施しました。 |
| | | 漁業経営の安定を図るため、水産物の加工による高付加価値化などを進めるとともに漁業協同組合の再編整備を支援します。 | メヒカリ、アンコウ、タラなど地元水産物の特性を把握し高付加価値化に資するため、季節別に一般成分分析を行いました。また、漁業協同組合の合併を目指し、県漁業協同組合合併研究会により協議、検討を行いました。 |
| | | 漁業後継者に対する支援や女性、高齢者の就労機会の拡大のための就労環境の改善を促進します。 | 漁協青壮年部と女性部の活動を支援する水産業改良普及事業を実施しました。また、漁業後継者グループの活動支援、小学生に水産業を理解してもらうための事業等を実施しました。 |
| | | 水産加工業の共同開発・生産体制の整備など高度化を促進するとともに、観光産業、外食産業との連携や浜の食文化PR活動の展開などにより、水産物の加工と消費の振興を図ります。 | 水産物の加工と消費の振興を図るため、久之浜漁港まつり等において地元水産物のPR活動を支援しました。 |
| | | 豊間(沼之内地区)等の漁港整備を進めるとともに、沿岸漁場の整備促進や水産物流通拠点整備の支援を検討します。 | 水産基盤整備事業により、いわき市漁協久之浜支所の漁船保全修理施設の新設を支援するとともに、市及び漁協が永崎地先で行った磯焼け対策を支援しました。また、産地市場本来の機能強化を図り、再編整備を進めるため、漁協内部検討会議を促進しました。 |
| | 商工業 | 高等教育機関や民間企業の集積を生かし、産学官連携による共同研究等を促進し、地域企業の技術開発力の強化を支援します。 | バイオマス利用による地域循環システム研究事業を支援するとともに、いわき地域産学官連携協議会が発展解消し設立された(社)いわき産学官ネットワーク協会においては、産学官連携促進に向けた各種交流事業を実施しました。 |
| | | 付加価値の高いものづくりを支援するため、ハイテクプラザいわき技術支援センターの機能充実を図ります。 | うつくしま次世代医療産業集積プロジェクトによる研究開発のほか、ハイテクプラザいわき技術支援センターの施設設備の開放や依頼試験の実施、成果普及講習会の開催等により、民間企業による付加価値の高いものづくりを支援しました。 |
| | | | |

| 大分類 | 中分類 | 主要な施策 | その主な取り組み状況、今後の予定 |
|-----|---------------|--|---|
| 産業 | 商工業 | 小名浜港の外国貿易コンテナ定期航路の拡大を図るため、港湾サービス機能の高度化を進めるとともに、ポートセールス活動の積極的な展開を図ります。 | 小名浜港の外国貿易コンテナ定期航路の拡大を図るため、荷主企業及び船社を訪問するとともに、使いやすい小名浜港づくり懇談会の開催、福島県小名浜港利用促進協議会が実施するセミナーの支援などを行いました。今後も引き続き、積極的なポートセールスを展開するとともに、LCL（小口混載）サービスを開始し、更に使いやすい港づくりに努めます。 |
| | | 小名浜地区における流通業務拠点整備に向けた取り組みを支援します。 | |
| | | いわき四倉中核工業団地の整備を進めるとともに、企業の誘致の促進を図ります。 | 平成18年4月に第一期区域が分譲開始となり、3社が譲渡契約を締結しました。今後も引き続き、いわき四倉中核工業団地企業誘致促進協議会による積極的な誘致活動を実施します。 |
| | | 磐城工業用水道等について、老朽施設などの計画的な改良・修繕に努めます。 | 磐城工業用水第二期改築事業として配水管路布設替を実施しました。今後も引き続き、配水管の耐震化を図ります。 |
| | 観光・リゾート・交流型産業 | 茨城県、栃木県、相双地区など周辺地域との連携による広域観光ルートの整備や、多彩な観光資源のネットワーク化による滞在型観光の振興を図ります。 | 平成18年4月に浜通り全ての市町村が参加してうつくしま浜街道観光推進会議を設置し、観光客受入体制向上研修会やオリジナルグッズの作成、観光キャンペーン等を実施しました。また、いわき市においては、映画「フラガール」を応援する会を設置し、映画を活用した積極的な誘客事業を展開しました。今後も引き続き、観光誘客と観光客の広域的な回遊の促進を図ります。 |
| | | いわき海浜自然の家、ふくしま海洋科学館(アクアマリンふくしま)、いわきサンマリーナなどの交流施設や漁港を活用し、都市住民等との交流を通じて、海や漁業等に関する理解を促進するための取り組みを支援します。 | 水産試験場における参観デーの実施や見学者の受入れ、ふくしま海洋科学館(アクアマリンふくしま)によるアクアマリン体験隊の開催や館内学習の実施、地域づくり団体への地域づくり総合支援事業(サポート事業)での支援等により、海や漁業等に関する理解を促進しました。 |
| | | 道の駅の整備に向けた取り組みを支援します。 | 道の駅の整備を支援するため、勿来ひと・まち未来会議定時総会や四倉地区における道の駅登録に係る協議会議に出席しました。 |

| 大分類 | 中分類 | 主要な施策 | その主な取り組み状況、今後の予定 |
|-----|---|--|---|
| 産業 | 観光・リゾート・交流型産業 | 首都圏との近接性や高速交通体系、さらには森、川、海、温泉の多彩な観光資源など地域の特性を生かし、コンベンション機能の整備充実を促進します。 | いわき市において、なんでもやっぺ観光推進事業として、多様化する観光ニーズに対応した観光地づくりへの受入体制・協力体制の整備を図るとともに、体験型観光ツアーの育成を目的として、JR東日本等との連携によるツアー事業を実施しました。 |
| | | 多彩な地域資源を活用した都市農村交流を通じ、観光と連携した農林水産業の振興など、交流型産業と多様な就業機会の創出を促進します。 | 三和町永井地区におけるそばオーナー制度への支援や、好間・田人地区の摘みとりブルーベリー園への支援を実施することにより、交流型農業を促進し、農業生産活動活性化を図りました。 |
| 環境 | 生活環境 | いわき地域公害防止計画により、大久川等の都市内河川の水質汚濁対策や道路交通公害対策、廃棄物・リサイクル対策を進めます。 | いわき地域公害防止計画に基づき、自動車交通公害対策として、一般国道6号常磐バイパスの4車線化を進め、常磐三沢町から常磐上矢田間の4車線化工事が完了しました。また、地下水汚染対策として、モニタリング調査を行いました。 |
| | 自然環境 | 磐城海岸、勿来、阿武隈高原中部、夏井川溪谷県立自然公園において、優れた自然環境や美しい自然景観を保全するとともに、自然に学び、自然とのふれあいを体験する場としての整備を進めます。 | 自然環境を保護するため、福島県自然保護指導員が県立自然公園等を巡回することにより、利用者へのゴミの持ち帰り指導や自然環境の状況把握等を行いました。また、絶滅危惧類(県レッドリスト)の渡り鳥コアジサシの県内唯一の営巣地を保護するため、営巣期間の5月から8月までの間、夏井川河口地域の一部を立入規制区域に指定し、職員による監視活動も行い、33羽の巣立ちが確認されました。 |
| | | 夏井川や鮫川等において、魚や野鳥などの生息環境や周辺の自然景観との調和に配慮した多自然型川づくりを進めます。 | 生活基盤緊急改善事業により、好間川において多自然型川づくり工事、鮫川においては魚道工を実施し、周辺の自然環境との調和に配慮した多自然型川づくりを推進しました。 |
| | 夏井川や鮫川等を交流の軸とした流域連携など、「循環の理念」に基づき地域づくり団体等が行う自然環境保全に向けた取り組みを支援します。 | うつくしまエコリーダーを養成し、交流会を開催するなど、環境保全活動の活性化を図りました。また、地域づくり総合支援事業(サポート事業)の活用等により、「循環の理念」に基づく自然環境保全の取り組みを支援しました。 | |

| 大分類 | 中分類 | 主要な施策 | その主な取り組み状況、今後の予定 |
|-----|------|--|--|
| 環境 | 自然環境 | ふくしま海洋科学館(アクアマリンふくしま)の海洋に関する研究機能の充実強化を図ります。 | ふくしま海洋科学館(アクアマリンふくしま)は、インドネシアで、絶滅危惧種であるシーラカンスの調査を実施し、水中撮影に成功しました。今後も絶滅危惧種の調査や保全活動を実施します。 |
| 基盤 | 広域交通 | 磐越自動車道の4車線化を促進します。 | 磐越自動車道いわきJCT～郡山JCT間について未整備区間の4車線化工事を促進し、小野IC～阿武隈高原SA間の4車線化工事が完了しました。今後も、早期に4車線化が図られるよう整備促進を関係機関等に要望していきます。 |
| | | 常磐自動車道等と一体になって、地域発展の核となる都市圏の育成や広域的な交流を促進するいわき東道路について、地域高規格道路として整備の検討を進めます。 | |
| | | 多核分散型の都市構造に対応し各拠点間の移動について定時性を確保するため、国道6号、49号のバイパス事業の促進を図ります。 | 一般国道6号常磐バイパスの4車線化工事を促進し、三沢町～上矢田間の4車線化工事が完了しました。また、一般国道49号平バイパスの4車線化工事を促進しました。 |
| | | 小名浜港へのアクセス道路として、国道289号、主要地方道いわき石川線等の整備を進めるとともに、いわき西環状道路(仮称)の調査を進めます。 | 国道289号、主要地方道いわき石川線の改良工事等を進め、いわき石川線沢繁工区については道路整備が完了しました。 |
| | | いわき地域における交通ネットワークの要となる国道6号、49号、289号、399号、主要地方道等の整備を進めます。 | 国道289号荷路夫バイパス、主要地方道常磐勿来線鮫川橋などの整備を進めました。 |
| | | 小名浜港について5,6号ふ頭の早期供用や東港地区(ポートアイランド)の建設促進など、国際港湾としての機能高度化を図ります。 | 東港の護岸工事を推進したほか、5・6号ふ頭の野積場舗装、分岐施設の整備を推進しました。 |

| 大分類 | 中分類 | 主要な施策 | その主な取り組み状況、今後の予定 |
|-----|---------|---|--|
| 基盤 | 中山間地域対策 | <p>高速交通体系の整備により、首都圏の人々が気軽に接することができる中山間地域として、ふるさとの雰囲気味わえる「田人おふくろの宿」、体験型の「いわきの里・鬼ヶ城」等の交流施設や多様な地域資源を活用し、さまざまなニーズに対応した交流を促進します。</p> | <p>グリーン・ツーリズムコーディネーターを育成するとともに、地域づくり総合支援事業（サポート事業）での支援を行いました。また、地域の主体的な取り組みをサポートし、地域との協働による振興策を実践するため、出先機関同士及びいわき市との企画段階から連携を図る「出先機関連携事業」を継続して実施します。</p> |
| | | <p>冬期温暖な気候とふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）や「いわき・ら・ら・ミュウ」等の海浜交流施設により、年間を通じて高い水準にある集客力を活用し、中山間地域の地域資源や交流拠点と連携した森、川、海を結ぶ観光ルートを構築して、観光客の滞留性、周遊性を高めます。</p> | <p>出先機関連携事業「アクアマリンパークを基点とした情報発信・交流促進事業」を継続して実施し、ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）やいわき・ら・ら・ミュウの集客力、小名浜倉庫群の改修を活かして、中山間地域の魅力をPRし、広域的な交流の促進を図ります。</p> |
| | | <p>北関東はもとより、太平洋と日本海を結ぶ交流・連携の拠点として、新潟、会津、阿武隈高原地域との連携強化を図り、多彩なニーズに対応した広域交流ルートの整備を促進します。</p> | <p>磐越自動車道沿線の都市間提携及び交流を図り、地域の魅力を高め一体となって発展していくため、磐越自動車道沿線都市交流会議（いわき市が事務局）において、観光物産展や研修会等を実施しました。</p> |
| | | <p>首都圏と隣接する立地優位性と、SOHO等の先進的な取組みをモデルとして、首都圏からのIターンの受入れ拡大や起業の促進を図り、就業機会の創出や活力ある地域づくりを進めます。</p> | <p>いわき市においては、産業交流拠点施設整備基本計画に基づきパイロットオフィス事業を行うとともに、創業支援セミナーを開催しました。</p> |

| 大分類 | 中分類 | 主要な施策 | その主な取り組み状況、今後の予定 |
|-----|---------|--|---|
| 基盤 | 中山間地域対策 | テレビ、ラジオの難視聴地域において、共同受信施設の整備を促進します。 | |
| | 中心市街地対策 | TMO（タウンマネジメント機関）の活動を支援し、活力ある商店街の再生を進めるとともに、いわき駅前や平一丁目などの市街地再開発事業や公園、街路等の整備を促進し、快適で利便性の高い中心市街地の形成を図ります。 | いわき駅前再開発事業については、建築工事及び街路の整備を促進しました。今後も再開発事業を促進するとともに、賑わいのまちづくり総合支援事業の活用等により、活力ある商店街の再生に向けた取り組みを支援します。 |
| | | 常磐線主要駅周辺や小名浜地区の市街地整備を推進します。 | 泉地区、内郷地区の区画整理事業を促進するとともに、小名浜港背後地等整備の具現化に向け、いわき市・地元団体・住民との調整に参画しました。 |
| | | 中心市街地における都市魅力の創出・形成を図るため、質の高い文化・芸術を楽しめる拠点施設の整備を促進します。 | いわき市においては、いわき芸術文化交流館の第1期工事を進めるとともに、平中央公園の改修工事（1期）を行いました。 |
| | 広域連携 | 阿武隈地域総合開発事業を推進し、道路網や上下水道施設など生活基盤の整備を進めるとともに、首都圏との近接性や高速交通体系を活用し、地域資源を生かした都市農村交流の促進を図ります。 | 国道289号荷路夫バイパスの整備を進めるとともに、三阪地区で農業集落排水施設の整備を進めました。今後も引き続き生活基盤の整備を進めるとともに、いわき市東京観光物産交流センター「いわき・ら・ら」や地域づくり総合支援事業（サポート事業）の活用などにより、地域資源を活用した都市住民との交流も支援します。 |
| | | 21世紀FIT構想を推進し、北茨城地域等との広域交流圏の形成を図ります。 | 21世紀FIT構想推進協議会において、FIT圏域交流・連携応援事業による地域団体への支援やFIT交流・二地域居住シンポジウムの開催などにより、21世紀FIT構想の推進に努めました。 |
| | | ふくしま沿岸域総合利用構想を推進し、相双地域との連携を図りながら、常磐自動車道や多様な地域資源を生かした魅力ある地域づくりを進めます。 | ふくしま沿岸域総合利用構想リーディングプロジェクト関連事業の進行管理に努めました。 |

| 大分類 | 中分類 | 主要な施策 | その主な取り組み状況、今後の予定 |
|-----|------|---|--|
| 基盤 | 広域連携 | 新潟県を含めた磐越自動車沿線地域において、地域資源を相互に活用した広域的な交流を促進します。 | 磐越自動車道沿線都市交流会議において、交流スポーツ大会や観光物産展の実施、HPの更新等を行いました。 |
| | | 海洋とエネルギーに関する技術、文化及び交流等の特色ある機能の集積を図り、広域的な振興拠点を形成するいわき『海洋&エネルギー』交流拠点構想を促進します。 | |